

かぼちゃ

かぼちゃはウリ科カボチャ属の蔓性植物になる果菜の総称です。日本かぼちゃは水分が多く、粘質で、どちらかと言えば甘味が少なく滋味に満ちていますが、今ではあまり作られなくなってきています。上から見ると菊のように見える溝が入っているものやごつごつとこぶがあるものも多く見られます。一方で西洋かぼちゃは大体のものは甘味が強く粉質で、加熱するとホクホクとした食感になります。この甘味と食感が多くの女性のハートを掴み、昭和40年代頃から一気に広まりました。

3月の農作業

平成15年発行：
JAハリマ「活き活き健康野菜づくり」より

作型

吸肥力が旺盛なので、肥料が多いと茎葉が茂りすぎて着果しなくなる。土壌が肥えている時は、元肥は控え、様子を見ながら追肥する。

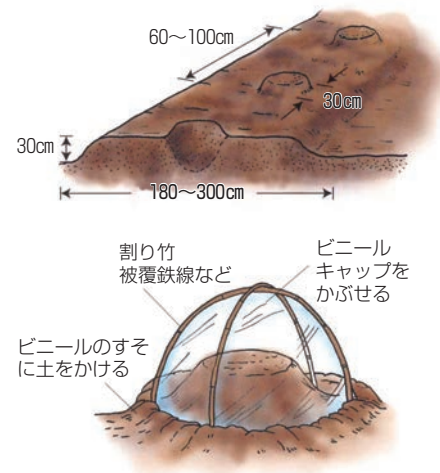
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え			○		△		■	■	■				えびす、みやこ(西洋種) 黒皮(日本種)
春 ま き				○			■	■	■				

○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥 a当たり	
油粕	10kg
畝立時施用	

- 西洋種：畝幅300cm
株間60～80cm
- 日本種：畝幅180cm
株間90～100cm
- 畝高30cm
- 定植位置をやや高くする。
- 元肥はマルチ幅程度に施用する。



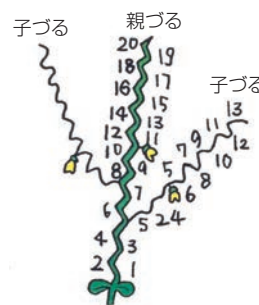
直まき

1ヶ所2～3粒まき、ビニールキャップをかぶせる。
本葉2枚頃、1本に間引く。キャップはつるが一杯になれば取り除く。

整枝

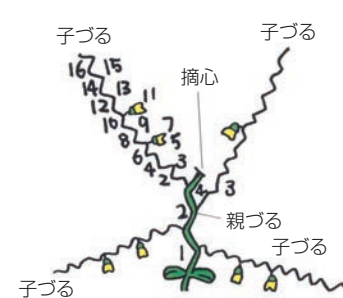
西洋種

- 摘心はせずに、親づると、子づる2～3本を伸ばす。親づるの10～17節目と、子づるの5～6節目に雌花はつく。



日本種

- 本葉5～6枚で摘心し、子づるを4本伸ばす。この子づるの4～5節目に雌花がつく。



追肥・敷きわら

- 子づる50cm頃：つるの伸びに合わせてわらを敷く。
- 着果したとき：つるの先に、野菜専用肥料3kg/aまたは油粕8kg/a施用する。

防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
ウリハムシ(ウリバエ)	株元に川砂を敷く 防虫ネットで被覆する	馬拉ソン乳剤 前日まで1,000倍

収穫

- 西洋種**：開花後40～50日で、果梗部(つると果実をつないでいる部分)が縦にひび割れ、硬くなってコルク化した頃。
- 日本種**：果皮がやや褐色がかり、白粉をふく頃。貯蔵は風通しの良い日陰に置く。貯蔵に適する条件は温度7～10℃、湿度75～80%。

裏面はトマトを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.311 平成29年3月15日発行

トマト

料理を美しく彩ってくれるトマトは、サラダやパスタはもちろん、炒め物や煮込み料理などにもよく使われます。加熱すると甘味やコクが深まり、肉や魚などの食材とも相性抜群。栄養価も高く、とても優れた野菜といえるでしょう。トマトは品種が豊富で、果皮の色も赤だけでなくオレンジや黄色、緑などカラフルで見た目にもぎやか。糖度の高いフルーツトマトやミニトマトが目立っていますが、昔ながらの味わい深いトマトもいまだに健在です。

3月の農作業

平成15年発行：
JAハリマ「活き活き健康野菜づくり」より

作型

連作障害が出やすいので、トマト、ナス、ピーマンの跡地に3～4年は作らない。肥料は少しずつ、回数を多くする。

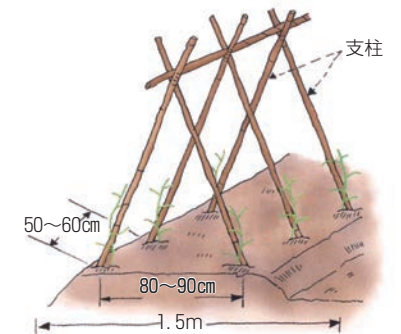
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え			○		△		■	■	■	■	■	■	桃太郎、南光2号

○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	400kg
セルカ(有機石灰)	15kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥 a当たり	
油粕	30kg
畝立時施用	

- 2条植え：畝幅1.5m
- 株間50～60cm
- 条間80～90cm
- 第1花房の花が開いた苗を植える。
- 花房が通路側に向くように植える。



整枝・摘果

- わき芽は小さいうちにかきとり、主枝1本仕立てとする。
- 主枝の摘心は支柱の高さで、最終果房の上に葉を2枚残して止める。
- 1つの花房にたくさん着果したときは、形の良いものを4～5果を残し、後は取り除く。



追肥・敷きわら

- 第1花房の実がピンポン玉程度になった頃から20日ごとに追肥する。(3回程くりかえす)(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料3kg/a、または油粕8kg/a)
- 敷きわらは梅雨明け頃から厚く敷く。

防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
疫病	雨よけ栽培をする 窒素の多施用を避ける 通風を良くする	ジマンダイセン水和剤 前日まで800倍
アブラムシ類	光反射テープや光反射マルチを利用する	モスピラン水溶剤 前日まで2,000倍

収穫

- すぐに食べる場合は真っ赤に完熟したものを収穫する。

裏面はかぼちゃを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.311 平成29年3月15日発行